

せりよさ

好学
道義
根性



卒業生へ贈る言葉

3学年主任 前田 直紹

「おかげさまで」
 夏が来ると冬がいいという、冬になると夏がいいという、太ると痩せたいという、痩せると太りたいという、忙しいと閑になりたいという、閑になると忙しい方がいいという、自分に都合のいい人は善い人だと誉め、自分に都合が悪くなると悪い人と貶す。借りた傘も雨が上がりれば邪魔になる。上を見て不平不満に明け暮れ、隣を見ては愚痴ばかり。どうして自分を見つめないのか、静かに考えてみるがいい。『いたい自分とは何なのか』親のおかげ、先生のおかげ、世間様のおかげの塊が自分ではないのか。つまり、自我を捨てて、得手勝手を手放したら世の中はさっと明るくなるだろう。おれがおれが捨てておかげさまでおかげさまでと暮らしたい。

右の文章は、ある社会活動家の言葉であるが、卒業生諸君、君たちはこの文章から何を感ずてくれるだろうか。私が感じるのは「感謝の心」です。君達自身、今まで歩んできた十八年の人生で、どれだけ愛情をかけられ、どれだけ助けられ、どれだけ他人の思いやりを受けて生きてきただろう。決して一人きりで生きてこられたわけではないだろう。親に、家族に、友人に、恩師に、そして、この島に、あらゆる場面で、あらゆる時間、あらゆる場所で支えられて、守られて、生きてきたのです。君達が今後の人生で忘れてはならないこと、それは「感謝の心」です。常に「おかげさまで」の精神を忘れることなく、自分を成長させて欲しい。君達なら、「感謝の心」を持ち続けた、水の如く、誰からも必要とされる人間になれる。

早春の風を感じながら

ロードレース大会

2月2日(月)にロードレース大会が実施された。1、2年生を対象に、女子は5.5km、男子は11kmの距離を制限時間内に走破する学校行事である。コースとなっている学校周辺の県道は、アップダウンが激しい。始めはこやかに出発した生徒達も、徐々に足が重くなり、苦しさは表情が歪む。しかし、その苦しみを乗り越え、ゴールした後は、一人ひとりが自分の持てる力を全て出し切った晴れやかな顔をしていた。本年度、女子の新記録を樹立した橋口綾乃さんは、「応援のお陰で楽しく走ることができた。1位でしかも新記録を出せるとは思っていなかった。来年も頑張りたい」と語ってくれた。生徒が感じ得たものは、個々に異なるかもしれないが、それぞれの胸の中できっと、大きな支えとなるのだと思う。また、大会運営に協力してくれた3年生や、温かい声援をくださった多くの保護者、地域の方々に対して、心より感謝の意を表したい。大会の結果は以下の通りである。



【男子個人】

1位	窪田 貴史(2の1)	1位	1の2
2位	中田 優貴(1の2)	2位	2の1
3位	川畑 恵(1の3)	3位	1の1

【女子個人】

1位	橋口 綾乃(1の1)	1位	2の1
2位	永吉 美咲(2の3)	2位	1の2
3位	菊池 美月(2の1)	3位	1の1

【男子総合】

1位	1の2
2位	2の1
3位	1の1

【女子総合】

1位	2の1
2位	1の2
3位	1の1

受験体験発表会

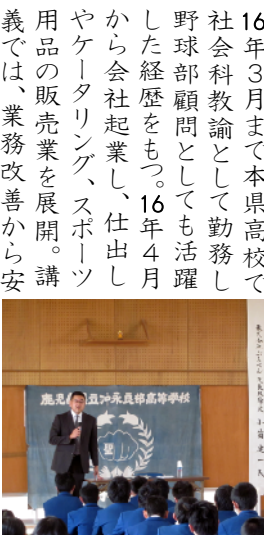
2月10日、1、2年生を対象に、就職・進学の実験発表会を実施した。これは、進路実現を果たした3年生にその体験談を話してもらい、1、2年生が主体的に学習に取り組んだり、進路について真剣に考える機会となることを願って、例年実施しているものである。今年度も3年生8名が体験談を発表してくれた。どの生徒も、自分の体験が少しでも後輩のためになればと、熱心に話してくれた。1、2年生はメモをとりつつ、次は自分の番だとばかりに、表情を引き締める様子が見られた。就職や進学に向けた受験という難関をくぐり抜けたばかりの生徒の言葉は瑞々しい。これに触れ、心の中で何かが芽吹いたのであれば、それを大事に育ててもらいたい。後輩の皆さんの夢へ届く大樹を。



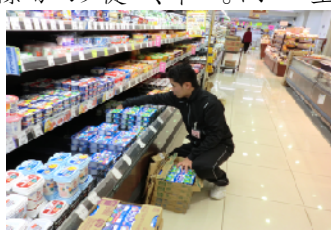
自分の生き方を考える

専門教育講座

2月12日に商業科生徒を対象に、和泊・知名両町の沖高教育振興事業による講演会を開催した。講師に株式会社ぶるべん代表取締役の小蘭健一氏を招聘し、「会社起業から11年、今思うこと」という演題のもと、会社経営や業績評価、意思決定について講義をしていただいた。小蘭氏は平成元年から16年3月まで本県高校で社会科教諭として勤務し、野球部顧問としても活躍した経歴をもつ。16年4月から会社起業し、仕出しやケータリング、スポーツ用品の販売業を展開。講義では、業務改善から安定経営に至るまでの自社損益計算書を公開し、販売や資金繰り等の経営の厳しさや社会的責任を説明された。「営業利益を上げるために売上原価を絞ることは、お客様の信用を失うことになる。世の中に必要なものを提供し続ける会社は、販売費及び一般管理費を削減する努力を怠らない。」



「生きる力」を将来の糧に
 5日間得たもの
 今年度も商業科2年生が、島内16の企業や施設として事業所で、5日間の就業体験学習を行った。事前の電話でのアポイントメントや打ち合わせでは、慣れないことに多くの生徒が悪戦苦闘していた。その様子を見ていて大丈夫かなど心配していたが、実際に始まると、良い意味で生徒に裏切られた。生き生きと働いていて、とても頼もしく思えた。まさに「生きる力」を見せつけられた。今回の体験で、生徒にとって職業選択の1つとなったのは勿論のこと、これから先の社会で生きていく中で、必要なモノを全員が得たことは間違いない。就業体験学習でお世話になった全ての方々に感謝申し上げると同時に、今後とも生徒を温かく見守り協力していただけたら、幸いです。



「南風(マジ)旋風」を巻き起こせ!

サッカー部 (部長 大久保 駿)

みなさん、こんにちは！
 我々沖高蹴球部は、現在2年生15名、1年生13名と、林先生、大谷先生、外部コーチの3名の指導者の下で活動している。3連覇のかかった9月の県大会で、奄美高校に敗れてから4ヶ月間、練習内容を一から変え、基礎のメニューを中心に取り組んできた。惜しくも、先日の県の新人戦では、情報高校に負けてしまったが、4ヶ月間の積み重ねのおかげで、少しずつ強くなっている。5月の総体に向けて、残り3ヶ月間、チームの課題を改善し、ストロングポイント強化し、「南風旋風」を巻き起こしたい。そして、いつも支えてくれる保護者、指導者、先輩や周りの方々への感謝を忘れず、恩返しができるように毎日の練習を頑張りたい。応援よろしくお願います！



せりよさ発表会

2月5日に1年生の総合的な学習の時間(せりよさ)の発表会を実施した。これは、普段の情報学習や総合的な学習の時間の成果を発表して郷土への愛情と理解を深めるとともに、プレゼンテーション能力を高め、社会に通じる人材を育成することを目的としている。沖永良部の「文化・芸能」「自然・地理」「産業・経済」「歴史・未来」からテーマを選択し、調べ、発表するという内容である。各クラスより代表を2グループ選択し、計6グループが発表した。発表形式が様々で、紙芝居を使用したり、劇のように芝居をしたりと、発表者の工夫が見られた。見ている側も興味深く自分の島のことに理解を深めていた。これからも郷土への愛着を忘れずに学校生活の中で、社会に貢献する人材に成長してもらいたい。



目標は全階級制覇!

ボクシング部 (部長 宮山 登優)

僕たちボクシング部は、部員7名、マネージャー1名、外部コーチ4名、顧問吉松先生の計13名で活動している。僕たちは、県大会に出場し、全階級優勝を目標として、日々厳しい練習をこなしている。今年は、1年生が2名入部してくれた。期待の新人で、この2名は、新人戦に出場できなかったが、次回の僕たちの最後の大会になるかもしれない県大会で、「優勝してみせる」とはりきっている。僕たちも絶対優勝してみせよう。またボクシングにも打ち込みながら生活態度もよりよくなってほしい。今後の活躍に期待していただきたい。



3月行事予定表

1	① 第65回卒業式
2	② 45分授業
3	③ 生徒指導部全体指導(朝礼時)
4	④ 水検査場設備(午後) 自宅学習①
5	⑤ 木一般入学者選抜(1日目) 自宅学習②
6	⑥ 金一般入学者選抜(2日目) 自宅学習③
7	⑦ 土EISA部卒業公演
8	⑧ 日あしひの郷ちな(18時30分開演)
9	⑨ 月自宅学習④
10	⑩ 火自宅学習⑤
11	⑪ 水45分授業 安全点検日
12	⑫ 木
13	⑬ 金合格者集合(13時30分集合)
14	⑭ 土スタディーサポート(1普)
15	⑮ 月学科朝礼
16	⑯ 火第二次入学者選抜願書受付
17	⑰ 水7限力ツト(せりよさ)
18	⑱ 木
19	⑲ 金出前講義(午後)
20	⑳ 土春分の日
21	㉑ 日
22	㉒ 月学年朝礼 45分×6限
23	㉓ 火45分×6限
24	㉔ 水修了式 教科書販売(被服室)
25	㉕ 木
26	㉖ 金離任式
27	㉗ 土
28	㉘ 日
29	㉙ 月
30	㉚ 火
31	㉛ 水